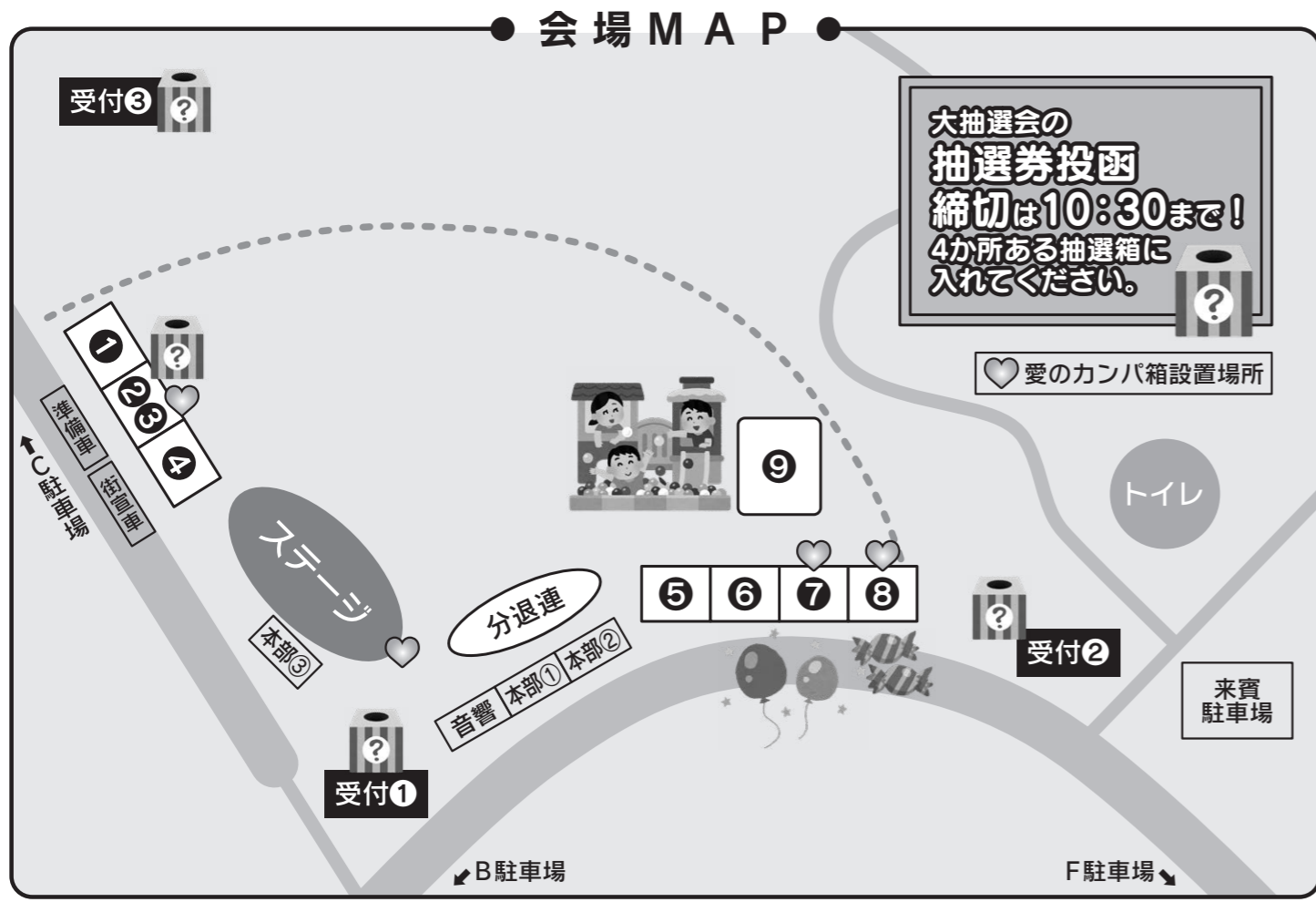
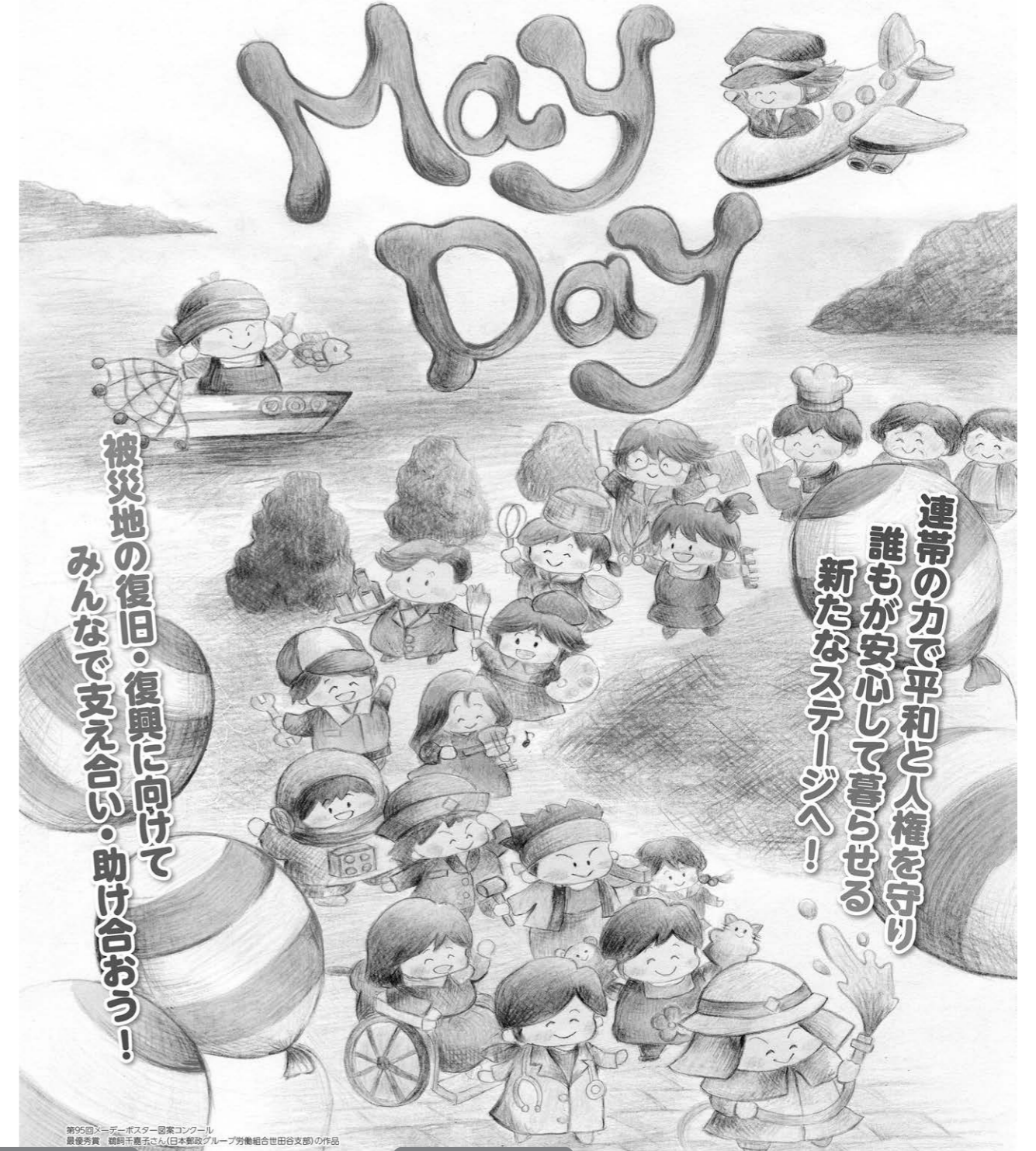


第95回メーデー大分県中央大会

日時:2024年4月27日(土)10時00分~ 会場:大分スポーツ公園内「大芝生広場」



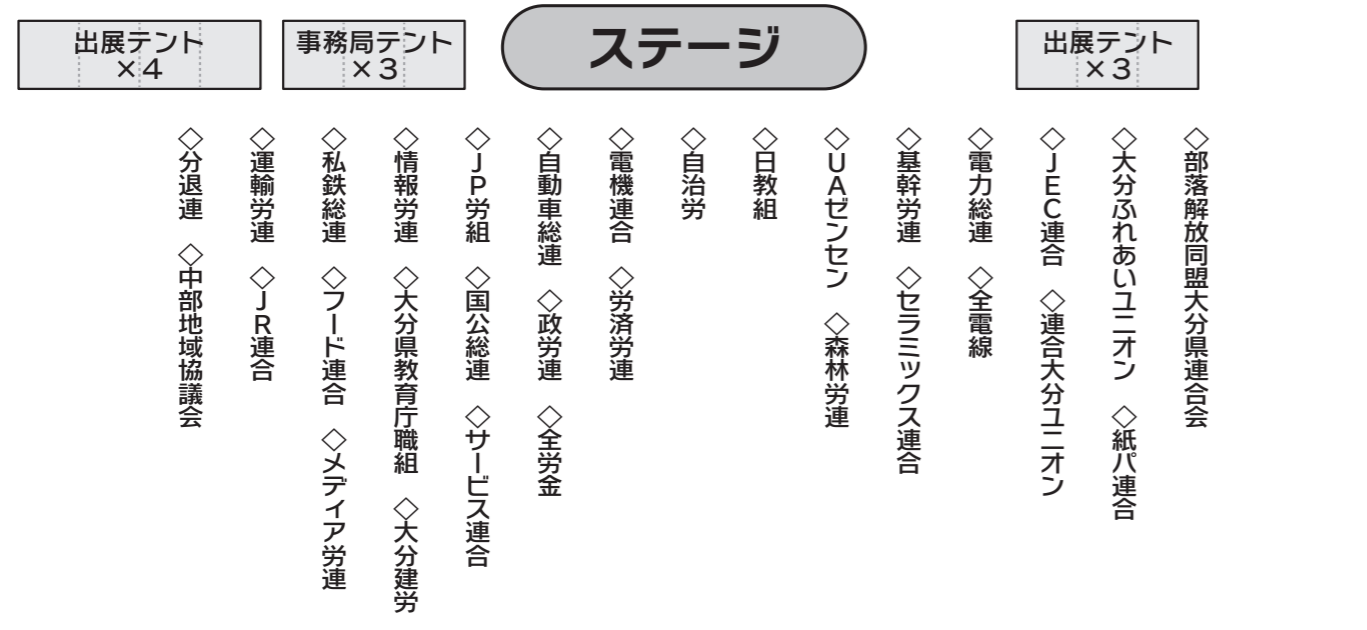
大抽選会の
抽選券投函
締切は10:30まで!
4か所ある抽選箱に
入れてください。

♡愛のカンパ箱設置場所

出展ブース

- ① 防災学習(こくみん共済coop) ② 連合・愛のカンパ ③ 県産ジュース販売
- ④ 狭山事件の再審実現にむけた啓発、署名活動(部落解放同盟大分県連合会)
- ⑤ 令和6年能登半島地震支援商品販売
- ⑥ 北朝鮮による日本人拉致被害者家族支援に関わる啓発、署名活動(UAゼンセン大分県支部)
- ⑦ プレゼント(風船) ⑧ プレゼント(お菓子、ポップコーン) ⑨ エア遊具(ふわふわ迷路)

式典時の会場配列



式典の部 (10:00~10:45)

1. 開会
2. 実行委員長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 来賓紹介
5. メーデー宣言採択
6. ガンバロー三唱
7. 閉会

祭典の部 (10:50~12:30)

1. 大抽選会
受付にて配布しました「抽選券」を切り取り、受付に設置しました「抽選箱」へお入れください。
締切は**10:30**です!
※賞品一覧は、別紙をご覧ください。
2. 仮面ライダーガッチャードショー&握手会
※事前の場所取りは出来ません、あらかじめご了承ください。
※大抽選会の進行状況により、開始時間が若干前後することがあります。

メーデーの始まり

8時間は労働に、8時間は休息に、 そしてあとの8時間はわれわれの自由に

メーデーは1886年5月1日、米国の労働者が「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自由な時間のために」を求めてストライキに立ち上がったのが起源です。当時、米国の労働者は長時間労働と低賃金に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求であったのです。

これをきっかけに世界の労働者は5月1日を「国際的な団結の日」と定め、1890年5月1日、第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。

日本では1920年(大正9年)5月2日、第1回メーデーが東京・上野公園で開催。それ以降、毎年開催されてきました。しかし、軍国主義の高まりの中、1936年(昭和11年)の「2.26事件」を契機に、メーデーは全面禁止されました。

第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再開。労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきています。

現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、讃え合いながら、家族や地域のみなさんにも楽しんでもらえる一大イベントとして全国各地で開かれています。

連合は、5月1日を祝日にするよう求めています。

労働者自主福祉運動とは

1949年、戦後直後の深刻な食料危機と生活物資の不足から、生活物資の確保をめざして労働団体や生協などが集まって、現在の中央労福協の前身である「中央物対協(労働者用物資対策中央連絡協議会)」を結成したのが労働者自主福祉運動のはじまりです。

そのほか、銀行からの融資が受けられず、高利の質屋やヤミ金融で苦しんでいた労働者を守るために設立された労働者のための金融機関である「ろうきん(労働金庫)」、事故や災害などで影響を受けた際に協同的に助け合う「こくみん共済 coop(全労済)」などが設置され、働く人による「共助」の取り組みを行っています。

詳しくはこちら→



ユニオニオン

連合

働く人のいちばんそばで
働く人の仕事と生活を支える

きょうちゃん

ロッキー

ピンキー

ピットくん

ろうきん

こくみん共済
coop

連合 愛のキャンパ



愛のキャンパ金 募集

「連合・愛のキャンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆さまのご協力をお願い致します。



メーデー宣言(案)

石川県能登半島での大地震発生から118日目となる本日、第95回メーデー大分県中央大会を開催した。あらためて、亡くなられた方々に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々、いまだ避難生活を余儀なくされておられる方々に、心からお見舞いを申し上げます。そして、一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう心から願う。

また、大分県内においても自然災害が頻発しているが、私たちは、これからも、「支え合い・助け合い」の心を一つに、被災地・被災者に寄り添った支援活動に取り組んでいく。

世界は「分断と対立」の道を突き進んでいる。未だ終結の見えないロシアによるウクライナ侵略や度重なる北朝鮮によるミサイル発射など、平和と秩序を武力で破壊する暴挙を決して許してはならない。さらに、ミャンマー軍事政権による市民への弾圧、パレスチナ自治区ガザにおける人道危機の深刻化など、人類普遍の価値たる人権が脅かされている。私たちは、ITUC(国際労働組合総連合)をはじめとする世界の働く仲間との国際連帯を強め、世界平和の実現と自由で民主的な世界の構築に向けて行動していく。

2024春季生活闘争は、労使の真摯な交渉の積み重ねにより、多くの組合で昨年を上回る賃上げを獲得している。アフレマインドを完全に払しょくし、新たな経済社会のステージへ転換する正念場において、私たちは大きな一歩を踏み出した。私たちには職場を、そして社会を変える力がある。未来づくりへの社会的責任を自覚し、先行組合の勢いを後続の中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く仲間の生活向上につなげていこう。

そして、日本の持続可能性に関わる構造的な課題の解決も待たない。私たちは「働くことを軸とする安心社会 -まもる・つなぐ・創り出す-」の実現に向けて、政策課題の改善に真正面から取り組み、ジェンダー平等の推進や、さまざまな人たちとの対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進めるとともに、働く者・生活者の立場にたった政治勢力の結集・拡大をめざす。

今こそ、私たちの連帯の力で、平和と人権が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会を、そして一日も早い被災地の復旧・復興を実現しよう。

以上、ここに宣言する。

2024年4月27日

第95回メーデー大分県中央大会